



平成26年 7月 4日

	観光振興課
担当者	石井、吉田
内線	2645
ダイヤルイン	895-2645

「長崎県観光動向調査」について

本県の平成26年1～3月期における観光動向について、
別添のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

本県では、観光客数の動向（トレンド）を適宜把握する目的で、年1回公表の
「長崎県観光統計」とは別に、観光動向に関する調査を実施し、3ヵ月毎にその
結果を「長崎県観光動向調査」としてお知らせしております。

調査概要の詳細は別添資料をご参照願います。



長 崎 県 観 光 動 向 調 査 (平成26年1～3月分)

主要指標

平成26年1～3月

	対象施設	延宿泊客数 利用者数	H25-H26比較	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	158	1,110千人	+8.4%	+86千人
主要観光施設	27	2,060千人	+13.9%	+252千人

概況

主要宿泊施設の宿泊客数は、ハウステンボスの「光の王国」や長崎市の夜景など、夜型観光が好調を維持していることや、外国人観光客が増加していることなどから、1～3月期全体で対前年同期比+8.4%となり、平成24年10～12月期から、6四半期連続で増加した。

主要観光施設の利用者数は、ハウステンボスの集客が大幅に増加したことに加え、九十九島パールシーリゾートや、平成26年1月に新ペンギン館がオープンした九十九島動植物園の入場者数が増加したこと、世界遺産登録に向けて国内推薦の決まった「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産であるグラバー園の入場者数や軍艦島への上陸者数が増加したことなどから、1～3月期全体で対前年同期比+13.9%と大幅に増加した。

ブロック別の主な増減要因

【長崎・西彼ブロック】

ランタンフェスティバルの集客は過去最高を記録した平成25年を下回ったものの、長崎市の夜景の世界新三大夜景認定以降、夜景観光が好調を維持していることなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+7.8%となった。

【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

「光の王国」等のイベントの開催により大幅な集客増となったハウステンボスを中心に、国内からだけでなく台湾、香港等からの観光客が増加したことや、平成25年4月に新規宿泊施設が開業したことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+18.4%となった。

【平戸・松浦ブロック】

一部宿泊施設でツアー客の増加が見られたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+2.7%となった。

【諫早・大村ブロック】

昨年のビジネス客の増加やスポーツ大会の開催に伴う団体客の増加の反動がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比 8.0%となった。

【島原半島ブロック】

昨年のスポーツ大会の開催に伴う団体客の増加の反動がみられたものの、一部宿泊施設で団体客やツアー客の増加がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+0.4%となった。

【五島ブロック】

国体のリハーサル大会が開催されたことや、一部宿泊施設で団体客の増加がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+7.6%となった。

【壱岐ブロック】

一部宿泊施設でツアー客の増加がみられたことや、スポーツ大会が開催されたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+10.1%となった。

【対馬ブロック】

対馬-釜山間航路の増便以降、対馬を訪れる韓国人の増加が継続していることなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+17.1%となった。

【参考】外国人観光客の動向（ご協力いただいた施設のみのサンプル調査）

ハウステンボスを訪れる外国人観光客が増加したことや、対馬を訪れる韓国人観光客が増加したこと、国際チャーター便の誘致が奏功したことや、中国からの企業団体旅行の誘致が奏功したことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+21.9%となった。

